

**令和元年度 第2回
市民と議会の懇談会概要**

**令和元年 10～11 月開催
宮津市議会**

市民と議会の懇談会－結果概要－

(令和元年10～11月開催)

1 班編成

班	構成議員	担当地区
1班	◎河原 末彦 松浦登美義 久保 浩 坂根 栄六	宮津、吉津、 養老、日ヶ谷
2班	◎向山 禎彦 星野 和彦 徳本 良孝 小濃 孝之 長本 義浩	宮津、栗田、 由良、日置
3班	◎長林 三代 松本 隆 横川 秀哉 北仲 篤	宮津、上宮津、 府中、世屋

◎：班長 (※各会場とも、正副議長どちらか参加)

2 開催日時

日	時	場 所	担当	参加者数
10月18日(金)	19:00～20:30	栗田地区公民館	2班	30人
10月21日(月)	19:30～21:10	日ヶ谷地区公民館	1班	11人
	19:30～21:00	由良地区公民館	2班	16人
10月24日(水)	19:00～20:40	城東会館	1班	13人
	19:00～21:08	上宮津地区公民館	3班	19人
10月28日(月)	19:00～20:50	浪花会館	2班	14人
	19:30～21:10	吉津地区公民館	1班	6人
10月29日(火)	19:00～20:30	日置地区公民館	2班	13人
11月11日(月)	19:30～21:10	養老地区公民館	1班	19人
11月13日(水)	19:00～20:20	府中地区公民館	3班	12人
11月14日(木)	19:00～20:35	魚屋会館	3班	6人
11月19日(火)	19:00～21:20	世屋地区公民館	3班	13人
計		12会場		172人

3 各地区の報告概要、意見等に対する宮津市の回答

第1班の報告	・・・	2～11 ページ
第2班の報告	・・・	12～19
第3班の報告	・・・	20～30
意見等に対する宮津市の回答	・・・	31～36

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和元年10月21日（月） 午後7時30分～9時10分
開催場所	日ヶ谷地区公民館
出席議員	班長：河原末彦 議員：久保 浩、松浦登美義、坂根栄六
参加人数	11人
議会報告の内容	9月議会（平成30年度決算、令和元年度補正予算）の報告
報告についての主な 質疑・意見	<p>Q 水道事業の委託の内容は A 窓口業務や検針業務、料金徴収業務などである。</p> <p>Q 借入金（実質公債費比率18%以上）の知事許可は必要なのか A 宮津市は、20.9%で知事の許可を受けなければならない。</p> <p>Q つつじヶ丘団地の販売残区画数と販売見込みは。 A 平成30年度末では、37残区画あったが、平成31年度になってから販売価格を不動産鑑定価格を参考に1㎡当り39,000円を22,000円に引き下げて販売した結果、5月末までに3区画売却され、34区画となった。</p>
懇談会のテーマ	高齢化等に伴う諸課題について
意見等 集約結果	<p>Q 高齢化率は60%前後であり、自治会運営に支障が出ており、次のとおり組織活動の困難な現状がある。どうすれば良いのか。 ①日ヶ谷5集落のうち、3集落は特に厳しい。自治会の統合を考えているが、なかなか進まない。 ②市からの要請に対し全て自治会長が請け負わなければならず、役員のなり手が無い。 ③自治会の存在が危ぶまれる中で、市は自治会頼みで話をしてくる。行政の都合で自治会を使わないでほしい。</p> <p>A 自治会も変わってきていることを認識した。自治会の組織運営の実態と求められる役割やあり方について、議会としても研究してもよいのではないかと考えている。</p> <p>Q 来年4月から公共交通が無くなる。どうすればよいのか。 A 養老地区として日ヶ谷地区も含めた公共交通空白地有償運送を検討されていると伺っている。養老地区での懇談会でもテーマとしているところである。</p>

	産業福祉委員会 調査・研究及び 参考事項	
	その他事項	
行政への要望等		<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地等直接支払交付金事業が今年度で区切りとなり、「京力農場プラン」の作成が必須になるようだが、実態に見合った実現可能なものにできるよう指導願いたい。（実態は、現状維持するのがやっとなである。）

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和元年12月25日 宮津市議会議長 北仲 篤 様

1班 班長 河原末彦

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和元年10月24日(木) 午後7時00分～8時40分
開催場所	城東会館
出席議員	班長：河原末彦 議員：久保 浩、松浦登美義、坂根栄六、星野和彦(副議長)
参加人数	13人
議会報告の内容	9月議会(平成30年度決算・令和元年度補正予算)の報告
報告についての主な 質疑・意見	<p>Q 水道事業会計の赤字は、簡易水道の減価償却にあるとの説明だが、30年度限りのことか。</p> <p>A 償却が終わるまで続いていくものである。</p> <p>・補正予算「水道事業会計」の窓口業務の民間委託に係る債務負担に関する意見があった。</p>
懇談会のテーマ	災害に強いまちづくりについて
意見等 集約 結果	<p>総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項</p> <p>Q 大手川が氾濫すると宮津高校や城東会館には避難できないので、避難をどこにするのか予め決めておく必要がある。また、宮津小の避難場所は変更する必要があるのではないか。</p> <p>A 今後の研究課題とする。一時避難所として、波路では夕風の里と、文珠地区では天橋立駅と協定を結んでいる。</p> <p>Q 避難に際しては「危ないと言われても、なかなか避難しない」ということが全国の状況を見て感じた。どうすればよいか。</p> <p>A 一番効果的なのは、日頃から知っている人からの呼びかけである。隣近所の2階建ての家の持ち主とも日頃から避難先としてお願いすることも必要。また、ハザードマップをみんなの情報と知恵を出し合い作り直す行動も必要ではないか。</p>
	<p>産業福祉委員会 調査・研究及び 参考事項</p> <p>Q 大手川の浚渫は、京口橋より上流はなされたが、下流はしてもらえないのか。</p> <p>A 下流域は、橋の高さが低く重機は入らないと聞いた。小さい重機による浚渫を考えていると聞いている。</p> <p>Q 東部地区を流れる河川(大手川・大膳川・神子川)の浚渫工事が遅れている。進行状況を把握し、今後も行政側に早くできるよう要請していただきたい。</p> <p>A しっかり把握し、行政に繋いでいきたい。</p>

	その他事項	
行政への要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一時避難所として、地区自治会の公民館を活用することがあるが、最低限の備品や消耗品の配備をお願いしたい。 ・ 舞鶴市の加佐地区では、ポンプ車、移動ポンプ車2台が配置されていると聞いている。宮津市でも検討してはどうか。 	

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和元年12月25日 宮津市議会議長 北仲 篤 様

1班 班長 河原末彦

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和元年10月28日（月） 午後7時30分～9時10分	
開催場所	吉津地区公民館	
出席議員	班長：河原末彦 議員：久保 浩、松浦登美義、坂根栄六、北仲 篤（議長）	
参加人数	6人	
議会報告の内容	9月議会（平成30年度決算・令和元年度補正予算）の報告	
報告についての主な 質疑・意見	<p>Q 5年間で40億円余りの累積赤字が出るといわれながら、「30年度決算は黒字である」との広報はミスリードではないか。</p> <p>A 基金（貯金）を取り崩しての黒字であり、その基金も枯渇状態にある。</p> <p>Q 山の地域資源活用事業は、竹資源の有効活用として、多額の税金が投入されている。現状をどうみているのか。 投資効果について市民にしっかりと説明してほしい。</p> <p>A ガス化発電の実証については、現在止まっているが、放置竹林の伐採を進めるという点では、規模は縮小されているが、地域竹林整備隊を編成し、昨年は2.0haの伐採が行われた。課題は竹の加工品をどう販売に結び付けていくかにあり、現在、竹チップや竹粉などの販売が行われている。また、㈱サンコールが連続炭化装置により生産した粉末を商品化していく試みがされている。まだ中間点であり、長い視点で見る必要がある。なお、現在の補助金は、地域竹林整備隊への支援に留まっている。</p>	
懇談会のテーマ	須津の農業の将来について	
意見等 集約結果	総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項	
	産業福祉委員会 調査・研究及び 参考事項	<p>Q 農業生産物の販売価格を高めて「儲かる農業」にしなければ、若い人が魅力を感じてもらえない。どうすれば良いのか</p> <p>A 議会では、今年度の所管事務調査として「6次産業化」を調査研究をしていくこととしている。</p> <p>Q 耕作放棄地をこれ以上増やさないためにどうすれば良いか。</p> <p>A 耕作できなくなった水田を、非農家の協力も得ながら管理しているところがある。地域での話し合いが第一。</p>

	その他事項	
行政への要望等		

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和元年12月25日 宮津市議会議長 北仲 篤 様

1班 班長 河原末彦

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和元年10月28日(月) 午後7時30分～9時10分	
開催場所	吉津地区公民館	
出席議員	班長：河原末彦 議員：久保 浩、松浦登美義、坂根栄六、北仲 篤(議長)	
参加人数	6人	
議会報告の内容	9月議会(平成30年度決算・令和元年度補正予算)の報告	
報告についての主な 質疑・意見	<p>Q 5年間で40億円余りの累積赤字が出るといわれながら、「30年度決算は黒字である」との広報はミスリードではないか。</p> <p>A 基金(貯金)を取り崩しての黒字であり、その基金も枯渇状態にある。</p> <p>Q 山の地域資源活用事業は、竹資源の有効活用として、多額の税金が投入されている。現状をどうみているのか。 投資効果について市民にしっかりと説明してほしい。</p> <p>A ガス化発電の実証については、現在止まっているが、放置竹林の伐採を進めるという点では、規模は縮小されているが、地域竹林整備隊を編成し、昨年は2.0haの伐採が行われた。課題は竹の加工品をどう販売に結び付けていくかにあり、現在、竹チップや竹粉などの販売が行われている。また、(株)サンコールが連続炭化装置により生産した粉末を商品化していく試みがされている。まだ中間点であり、長い視点で見る必要がある。なお、現在の補助金は、地域竹林整備隊への支援に留まっている。</p>	
懇談会のテーマ	須津の農業の将来について	
意見等 集約結果	総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項	
	産業福祉委員会 調査・研究及び 参考事項	<p>Q 農業生産物の販売価格を高めて「儲かる農業」にしなければ、若い人が魅力を感じてもらえない。どうすれば良いのか</p> <p>A 議会では、今年度の所管事務調査として「6次産業化」を調査研究をしていくこととしている。</p> <p>Q 耕作放棄地をこれ以上増やさないためにどうすれば良いか。</p> <p>A 耕作できなくなった水田を、非農家の協力も得ながら管理しているところがある。地域での話し合いが第一。</p>

	その他事項	
行政への要望等		

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和元年12月25日 宮津市議会議長 北仲 篤 様

1班 班長 河原末彦

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和元年11月11日（月） 午後7時30分～9時10分
開催場所	養老地区公民館
出席議員	班長：河原末彦 議員：久保 浩、松浦登美義、坂根栄六、北仲 篤（議長）
参加人数	19人
議会報告の内容	9月議会（平成30年度決算・令和元年度補正予算）の報告
報告についての主な 質疑・意見	<p>Q ふるさと納税額から経費を差し引いた正味の収入は</p> <p>A 7,000万円の寄付に対して、返礼品買取りや仲介する業者、流通経費等約50%が経費となる</p> <p>Q 介護職員の不足により、施設の定員まで入所できていないと聞くが、実態はどうか、また、人材育成はどうしているのか。</p> <p>A 最近までは、成相山青嵐荘の短期入所が、今では、マ・ルート、安寿の里が各10床閉鎖されている。施設の努力により解消される見通しである。</p> <p>Q 島崎公園の整備に芝生を植えたが、整備費用総額と管理費用はどのくらいか。また、費用対効果をどう図っていくのか。</p> <p>A 整備費用総額は約1.5億円。管理費用は、少なくとも済む「ティフトン芝」を採用しており、年間約100万円である。 費用対効果は、これからどう利用していくかである。例えば、灯籠流し花火大会の他各種イベントと併せた利用方法が考えられる。</p>
懇談会のテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化について ・バス枝路線含む高齢化等による地域住民の移動手段確保について
意見等 集約 結果	<p>総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項</p> <p>Q 養老地域会議として検討を重ねてきた。（仮称）橋北移送サービスを立上げ、養老9集落と日ヶ谷5集落の誰でも登録していれば利用可能で、家まで送迎する方向で検討している。軽自動車1台をリースし、運転員5名で運行する。この事業は、失敗は許されず持続可能なものとするために、しばらくの間だけでも経費面の援助が必要であると考えが如何か。</p> <p>A 議員間でも相談しながら、行政に伝えていく。</p>
	<p>産業福祉委員会 調査・研究及び 参考事項</p>

	その他事項	
行政への要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような状況になれば、再生・創生・活性化されたと言えるのか、2011みやづビジョンの成果を数値化されたい。 ・養老中学校跡地利用についての公募の結果並びに、公共マネジメントの中で、どのように整理されていくのか。現状を報告願いたい。 ・「公共交通空白地有償運送」を持続可能なものとするための助成制度を確立されたい。 	

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和元年12月25日 宮津市議会議長 北仲 篤 様

1班 班長 河原末彦

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和元年10月18日(金) 午後7時00分～8時30分	
開催場所	栗田地区公民館	
出席議員	班長：向山禎彦 議員：徳本良孝・小濃孝之・長本義浩・星野和彦	
参加人数	30人	
議会報告の内容	9月議会(平成30年度決算・令和1年補正予算)の報告	
報告についての主な 質疑・意見	<p>Q 補正予算「水道事業会計」窓口業務の民間委託内容は。 A 窓口業務、検針作業、料金徴収の業務である。</p> <p>Q 料金改定は。 A 審議会に諮問し行政が判断する。</p>	
懇談会のテーマ	生活環境(通院・買い物・バス枝線など)について	
意見等 集約 結果	総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項	<p>Q 交通手段の無い住民用に「買い物・通院・所用」など多機能に使用できる《栗田⇄市内移動バス》があれば便利である。 A 今後の有償運送の参考になる。</p> <p>Q 枝線の代替えとしてスクールバスの活用、社協の活用を検討して欲しい。 A 今後の有償運送の参考になる。</p> <p>Q ゴミ袋の販売場所がない。公民館・町内店舗など販売個所の増加を検討して欲しい。 A 公民館の「物品販売」が法的に可能か、金銭管理者は誰が責任を持つのか、などの面から、町内の「店舗業者」に扱いを依頼するのが早いと考える。</p> <p>Q ゴミ袋の形状(手提げ式がたくさん入るなど手提げ付が便利)を検討して欲しい。 A 市民部に他市の手提げ付ゴミ袋を参考に渡した。</p>
	産業福祉委員会 調査・研究及び 参考事項	<p>Q 地元に出店する可能性があるスーパーやコンビニを、地元・業者・行政一体による出店検証をして欲しい。 A 地元と一緒に出店するコンビニもあるようだが出店審査は厳しいのではないかと。</p>
	その他事項	
行政への要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・地元スーパーが撤退した。市内業者(宅配サービスなど)と交渉し「代替え案」を提案して欲しい。 ・バスの有償運送は自治会では結論が出ていないが、行政から代替案を提示して欲しい。 	

	<ul style="list-style-type: none">・新清掃工場の見学を希望する。
--	---

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和元年 12 月 25 日 宮津市議会議長 北 仲 篤 様

2 班 班長 向 山 禎 彦

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和元年 10 月 21 日（月） 午後 7 時 30 分～9 時 00 分	
開催場所	由良地区公民館	
出席議員	班長：向山禎彦 議員：徳本良孝・小濃孝之・長本義浩・星野和彦	
参加人数	16 人	
議会報告の内容	9 月議会(平成 30 年度決算・令和 1 年補正予算)の報告	
報告についての 主な質疑・意見	<p>Q 補正予算「水道事業会計」窓口業務の民間委託に係る内容は。 A 窓口業務、検針作業、料金徴収の業務である。</p> <p>Q 料金改定などの危惧があるが。 A 審議会で答申される。</p>	
懇談会のテーマ	高齢化する農業について	
意見等 集約結果	総務文教委員 会調査・ 研究及び 参考事項	
	産業福祉委 員会 調査・研究 及び 参考事項	<p>Q 山間部に沈砂池をつくると災害防止に繋がる。 A 参考にする。</p> <p>Q みかん購入希望はあるが高齢化と人出不足のため収穫できない。みかんの刈り取りをシルバー人材センターに依頼している農家がある。人材不足解消の参考にできないか。 A 調査する。</p> <p>Q 土地の荒廃が進んでいる。耕作放棄地の実態が不明のため調査が必要ではないか。 A 参考にする。</p> <p>Q 個人農業から集団農業など、農業法人化や株式会社などのサラリー制度を導入している事例やサポートを調査して欲しい。また農業成功の好例はないのか、調べて欲しい。 A 調査、研究する。</p> <p>Q 災害があれば農機の投資が無駄になる。農機具の共同化など農業法人化でサラリーマン農業制度を導入している事例やサポート体制など調査して欲しい。 A 調査、研究する。</p> <p>Q 農業工場の誘致が可能か調べて欲しい。 A 調査、研究する。</p>

	その他事項	
行政への要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・農地に行けない場所があり農道整備と現地調査をして欲しい。 ・市役所に半農半業就労の相談窓口を開設して欲しい。 ・後継者不足解消のため、第三者に農地を任せる補助制度を検討して欲しい。 	

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和元年 12 月 25 日 宮津市議会議長 北 仲 篤 様

2 班 班長 向 山 禎 彦

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和元年 10 月 28 日（月） 午後 7 時 00 分～8 時 36 分	
開催場所	浪花会館	
出席議員	班長：向山禎彦 議員：徳本良孝・小濃孝之・長本義浩・星野和彦	
参加人数	14 人	
議会報告の内容	9 月議会(平成 30 年度決算・令和 1 年補正予算)の報告	
報告についての主な 質疑・意見	<p>Q 残業削減は順調か。 A 順調と聞いている。議会で確認していく。</p> <p>Q 火葬場検討会発足の新聞報道を見たが移転はどうなっているのか。 A 西部地区委員を 2 名だすことになっている。</p> <p>Q 水道事業の民間委託の内容は。 A 窓口業務、検針作業、料金徴収の業務である。</p> <p>Q 料金改定は。 A 審議会に諮問し、行政が判断する。</p> <p>Q 水道料金未納者の水道停止の判断は。 A 行政が行う。</p> <p>Q 個人情報の漏洩はないのか。 A 住民基本台帳と連動していないので漏洩はないと聞いている。</p>	
懇談会のテーマ	如願寺川の溢水対策	
意見等 集約 結果	総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項	<p>Q 大雨で緊急放送が聞こえにくい。他の手段はないのか。 A どこの地区でも出る課題で「スピーカー式」では限界がある。 防災メールの活用(設定は消防防災係がする)などの対応をしている。</p>
	産業福祉委員会 調査・研究及び 参考事項	
	その他事項	

<p>行政への要望等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・如願寺川の溢水は、滝上公園の上側の京都府砂防工事の影響がないか調べてほしい。 ・砂防工事は如願寺川沿いの狭い道路で出来るのか。 ・如願寺川側溝の修繕・補修をして欲しい。 ・河口(港湾)の浚渫工事をして欲しい。 ・山の整備(倒木)を優先でして欲しい。 ・海岸付近での排水ポンプの強化をして欲しい。 ・高齢化と人出不足もあり、日頃から自治会倉庫に土嚢のストックを設置して欲しい。 ・「水道事業会計」窓口業務の民間委託、火葬場検討会発足(西部地区委員2名選出)など住民への説明を積極的にして欲しい。
----------------	--

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和元年12月25日 宮津市議会議長 北 仲 篤 様

2班 班長 向山 禎彦

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和元年 10 月 29 日（火） 午後 7 時 00 分～8 時 30 分	
開催場所	日置地区公民館	
出席議員	班長：向山禎彦 議員：徳本良孝・小濃孝之・長本義浩・星野和彦	
参加人数	13 人	
議会報告の内容	9 月議会(平成 30 年度決算・令和 1 年補正予算)の報告	
報告についての主な 質疑・意見	<p>Q 水道事業会計窓口業務の民間委託に係る債務負担行為の説明で、与謝野町議会が否決した理由は。</p> <p>A 議会で判断するだけの説明資料が不十分と聞いている。</p> <p>Q 舞鶴市、宮津市だけの影響はないのか。</p> <p>A 影響はないと説明を受けた。</p>	
懇談会のテーマ	高齢者福祉と地域医療、地域振興策 (地域振興—農産物販売所など)	
意見等 集約 結果	総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項	<p>Q 日置診療所(週 2 回)は患者で満杯なので、日置中学校跡地活用に「診療所入居」を検討してはどうか。</p> <p>A 医療設備や水回り問題などあり、診療所は設置しない方針だ。</p>
	産業福祉委員会 調査・研究及び 参考事項	<p>Q 産業がない、農産物がビジネスになる方法を検討して欲しい。</p> <p>A 調査、研究をする。</p>
	その他事項	<p>Q 少子高齢化、限界集落化、空家対策、移住特区制度、転入制度、など、日置地区の活性化は一例だが協議会を設置するなど地域全体で考える必要がある。</p> <p>A 調査、研究をする。</p> <p>Q 議員は議会だけでなく地域の声をつかむ活動を日頃から行って欲しい。</p> <p>A 真摯に受け止める。</p>
行政への要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・交通手段(バス)が不便で買い物先がないことを認識して欲しい。 ・ゴミの搬出が大変。ゴミ集約所の増設をして欲しい。 ・下水道は府中の北エリアから北が整備されなくなった経緯(財政・ポンプ設置など)が不明確と感じる(※懇談会后、建設部に確認。平成 20 年 10 月に自治会から要望があり説明会を開いたとの回答を受けた)。 ・農村集落型排水施設(ミニ集落型排水施設)を検討して欲しい。 	

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和元年12月25日 宮津市議会議長 北 仲 篤 様

2班 班長 向山 禎彦

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和元年10月24日（木） 午後7時～9時08分	
開催場所	上宮津地区公民館	
出席議員	班長：長林三代 議員：横川秀哉・松本隆・北仲篤	
参加人数	19人	
議会報告の内容	9月議会（平成30年度決算・令和元年度9月補正予算）の報告	
報告についての主な 質疑・意見	<p>決算「公共土木施設災害復旧事業」 Q 国の制度では繰り越しを含めて2年以内の完了となるが、現在の執行は約3割の状況だ。うまくいくのか。 A 入札の不調もあったが、期間内に工事を終わると聞いている。</p> <p>補正「水道事業」 Q なぜ市民の意見を聞き、議会で議論しようとならないのか。 A 窓口業務の民間委託であるが、個人情報の漏えいはなくメリットは400万円の縮減効果である。水道管は市が責任を持つ。財政難の中、水道事業は人口が減っても敷設管を維持しないといけないことを市民に説明すべきであった。 ※₁ 議会懇談会などで丁寧な説明をしていく。</p> <p>Q 民間経営へのプロセスの1つでは。 A 負担を減らし、自治体が水質管理する。議会としてチェックする。</p> <p>Q 民間は営利追求であり地元業者が排除される懸念がある。市民や地元業者の仕事を守ることを議会で議論してほしい。 A 思想信条を問わず、市民生活や幸福を守る市民の立場でチェックしていく。</p>	
懇談会のテーマ	山林の維持管理と下流域の防災対策について	
意見等 集約 結果	総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項	<p>Q 京丹後市では土木の経験のない人も職員に採用して土木の経験をさせている。市に提案してほしい。 A 研究していく。</p>
	産業福祉委員会 調査・研究及び 参考事項	<p>Q 災害復旧は住宅地優先で、農地や用水路の土砂堆積の復旧は後回しだ。対策は。 A 議会として情報を共有し取り組んでいく。 ※₂ 特に住宅地を優先して復旧するという方針はないが、被災箇所までの進入路整備後に復旧工事に着手する必要性があることなど</p>

	<p>から結果的に農地等の工事が遅れる場合もある。また、作物の収穫後に工事に着手するケースも同様である。</p> <p>Q 独居老人も多く復旧は困難だ。復旧にアンケート等、地域の声を集める努力を。</p> <p>A 上宮津自治会も頑張っている。議員も訪問しているが限界がある。</p> <p>※³ 個々の案件を議員や議会へ直接情報提供いただければ対応できるか、担当者と相談する。</p> <p>Q 大手川改修による濁流を、環境に影響のない工事にしてほしい。山の整備をしないとまた災害が起こる。山林の回復をしてほしい。</p> <p>A 森林経営管理法の説明をした。森林環境税が令和6年から開始される。</p> <p>Q 災害復旧しても同じところが災害に遭う。原形復旧から改良復旧に見直してほしい。</p> <p>A 地元の意見を十分聞かないとできないこと。生活しやすい地域へ議員間で議論する。</p> <p>※⁴ 国等への要望を行っていく。</p> <p>Q 改良復旧に見直しするのに、どのような方法があるのか。</p> <p>A 特例対応もある。地元の声を受け止めて議会が行政に伝えるといった方法もある。</p> <p>Q 他市町の議会と共同で、柔軟な予算執行の決議を上げていくことが必要だ。また、防災という観点から改良復旧を可能にするよう、国に要望してほしい。</p> <p>山が崩れたままだと下流に影響を及ぼす。現状をどう把握しているのか。将来的構想はあるのか。</p> <p>A 議会で議論していく。</p> <p>Q 市は観光に力を入れているが、天橋立に魅力がない。観光客のリアルな声を聞いて施策に生かしてほしい。民間の頑張りも足りないのでは。</p> <p>A 観光客300万人だが波及効果が少ない。議会も検討分析中。新税の導入も考えている。</p> <p>Q 観光都市というのが観光が基盤になっているのか。議員は考えたことあるのか。</p> <p>A 食事するところもないと言った観光客の声を捉えて、ソフト政策を充実していくことが大切である。</p> <p>Q 「にっこりあ」は、土日は宮津市民が利用できないほど大勢だが平日はガラガラだ。料金を取ってはどうか。また、赤ちゃんだけとか大きい子だけとか、曜日で分けてはどうか。</p> <p>A 現状と声は受け止めておく。</p>
--	---

		<p>Q 引っ越してきたのでお母さん同士の接点がない。児童館などは親の送迎付きでないと小学生の居場所もない。</p> <p>A 参考にしたい。</p>
	その他事項	<p>Q 議会の政策提案を、市民に報告してほしい。</p> <p>A 所管事務調査を3年前から始めている。市民のみなさんにわかりやすく報告する。</p>
行政への要望等		<ul style="list-style-type: none"> ・天神団地や鳥が尾団地等、安全性の高い場所を最終避難所に利用してはどうか。 ・災害復旧の補助金が出ても受益者負担金が多い。受益者負担金の見直しを求める。 ・高齢化で紙おむつなどのゴミが重くて大変である。ごみ集積場の増設を。 ・有害鳥獣をジビエに利用してほしい。 ・人事異動で職員がよく替わる。森林整備は一定期間専任できる職員を置いてほしい。 ・災害時、松縄手の住民は高速道路料金所に避難した。避難所対策等に利用させてもらえるよう働きかけてほしい。 ・バスケットやスケートボードができる、子どもの遊び場がほしい。

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和元年12月25日 宮津市議会議長 北仲 篤 様

3班 班長 長林 三代

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和元年 11 月 13 日（水） 午後 7 時～8 時 20 分
開催場所	府中地区公民館
出席議員	班長：長林三代 議員：横川秀哉・松本隆・北仲篤
参加人数	12 人
議会報告の内容	9 月議会（平成 30 年度決算・令和元年度 9 月補正予算）の報告
報告についての主な 質疑・意見	<p>決算「財政に関して」</p> <p>Q 財政再建団体になれば大変だ。基金の考え方は。</p> <p>A 基金は安易に取り崩すものではない。府の助言もいただきながら取り組んでいる。</p> <p>Q 緊縮財政だ。議会は中長期的に検証しないのか。計画の見直しはしないのか。</p> <p>A 精度の高い検証しフィードバックすることが十分できていない。</p> <p>※⁵ 中長期的な財政状況の検証として最も重要なのが公債費のチェックである。これについては償還状況をチェックすると共に平準化についての提案も含んで審査を行っている。一方で災害復旧等の緊急的な財政出動が必要な場合に備えては財政調整基金等を積み立てておく必要がある。この両方に目配りをしながら中長期的な財政状況を検証している。</p> <p>補正「小中一貫教育推進事業」</p> <p>Q 宮津中学校、栗田中学校ブロックは進んでいるが、橋立中学校は機能していない。今後の見通しは。</p> <p>A 宮津中学校や栗田中学校と比較して遅れるのではという声は聞くが、実践研究の成果を共有しながら取り組んでいる。</p> <p>※⁶ 宮津市と与謝野町の学校組合立という制度上の制約もあり、時間を要することもあるが宮津市教育委員会と与謝野町教育委員会で情報共有をしながら取り組みを進めている。</p> <p>補正「有害鳥獣対策事業」</p> <p>Q 新ごみ処理施設でなぜ処分できないのか。どの時点で変更になったのか。</p> <p>A 後日回答する。</p> <p>※⁷ 平成 26 年 5 月に、宮津与謝環境組合議会で質問があったが、今の状況では対応できる施設を併設しないと不可能であり、検討してほしいと答弁している。</p>

		<p>現在の焼却施設では宮津市で捕獲した分だけ処理しているが、新ごみ処理施設は1市2町の組合である。伊根町は埋設するが、与謝野町は捕獲量が多く、宮津市と与謝野町の捕獲分を処理するにはコントロールする必要がある。担当者会議、副市長会議、首長会議を数回経て、平成30年5月に、最終的に新ごみ処理施設は補完的施設の位置づけにし、狩猟期間は新ごみ処理施設で処理するが、有害の期間は市町の有害鳥獣処理施設で処分するとすみわけをした。平成30年12月の宮津市議会で、有害鳥獣は与謝全体で70t超あるが、新ごみ処理施設は30t/日の処理のため困難との答弁があった。</p>
	懇談会のテーマ	空き家対策について
意見等集約結果	総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項	<p>Q 空き家対策、移住定住対策を具体的にどう進めたらよいか。成功事例も教えてほしい。</p> <p>A 空家空地条例を活用して地域振興を。UIサポートセンターで情報集約している。地域の魅力を発信することや自治会どうし意見交換することも必要ではないか。</p> <p>Q 府中は環境はいいが仕事や空き家対策の課題は多い。視点を変えたアプローチも必要ではないか。</p> <p>A 1年間で1%人口を高めていけば、今の人口を維持することができる。子育て世代への支援など、みんなで府中独自の考え方につなげてはいかがですか。</p> <p>※8 移住促進特別区域に指定されたその制度を活かしてほしい。</p>
	産業福祉委員会 調査・研究及び 参考事項	<p>Q 狩猟期間だが11月と6月の15日間は許可されない。なぜか。</p> <p>A 調べて回答する。</p> <p>※9 宮津市域に捕獲檻が約250あるが、12人の担当者がすべての檻の開閉と札の付け替えをするのに時間がかかるため、余裕をもって15日間を取っている。</p>
	その他事項	<p>Q 市議が発言力を持って予算等を市民に報告してほしい。報告の開催数を増やしてほしい。</p> <p>A 検討する。</p>

行政への要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・綾部市や北海道東川町は移住が多い。移住しやすいよう行政がリーダーシップをとってほしい。 ・宮津の魅力を発信しているが、発信元を明確にしてほしい。
---------	--

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和元年 12 月 25 日 宮津市議会議長 北仲 篤 様

3 班 班長 長 林 三 代

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和元年 11 月 14 日（木） 午後 7 時～8 時 35 分	
開催場所	魚屋会館	
出席議員	班長：長林三代 議員：横川秀哉・松本隆・北仲篤	
参加人数	6 人	
議会報告の内容	9 月議会（平成 30 年度決算・令和元年度 9 月補正予算）の報告	
報告についての主な 質疑・意見	<p>決算「水道事業会計」 Q 養老・日ヶ谷の簡易水道は減価償却で赤字だが、原因はそれだけか。 A 調査する。 ※¹⁰ 養老・日ヶ谷簡易水道において近年整備した養老・日ヶ谷浄水場や波見谷浄水場の減価償却費が水道事業に統合されたことにより発生したもの。</p> <p>補正「水道事業会計」 Q 市も議員も市民周知の姿勢が足りない。年内に市民説明会を開くよう、議会から市に要望してほしい。滞納整理は民間だとなぜできるのか。400 万の縮減効果も不明確だ。 A 議員個々は研究している。広域化で人件費がカットできる。400 万の縮減効果の根拠は把握できていない。 ※¹¹ 400 万の縮減効果は職員削減等によるものである。</p> <p>Q 民間委託すると水道料金は高くなるのか、安くなるのか。 A 広域化で市民負担は低くなるという前提でしている。水道料金の値上げは水道料金等審議会で審議している。</p> <p>Q 5 市 2 町 1 水道で料金の統一も出てくるのではないか。 A 現段階は窓口業務であり広域化で負担が減る。水質管理や水道管は行政の責任。個人情報漏えいはないという説明である。</p>	
懇談会のテーマ	まちづくりについて	
意見等集	総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項	<p>Q 公設市場、労働会館、ホテルなど、周辺一帯の利活用について議員の考えは。 A 活用も含め議会としても言っているが、具体は提案していない。</p>

約 結 果	産業福祉委員会 調査・研究及び 参考事項	
	その他事項	
行政への要望等		<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の多い文珠で、宮津の物産を広報し販売額を増やす目的でセレクトショップを開設してほしい。 ・第1次産業部門を豊かにしてほしい。 ・海岸にゴミ箱を設置し、美化清掃の協力金を徴収してはどうか。 ・観光客が府中運動公園の周囲に駐車しており、公園利用者が駐車場を利用できないときがある。臨時駐車場についての工夫をしてほしい。 ・クルーズ観光できるよう、伊根行の船を夏季だけでなく増便してほしい。

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和元年 12 月 25 日 宮津市議会議長 北仲 篤 様

3 班 班長 長 林 三 代

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和元年 11 月 19 日（火） 午後 7 時～ 9 時 20 分
開催場所	世屋地区公民館
出席議員	班長：長林三代 議員：横川秀哉・松本隆・北仲篤
参加人数	13 人
議会報告の内容	9 月議会（平成 30 年度決算・令和元年度 9 月補正予算）の報告
報告についての主な 質疑・意見	<p>決算「財政について」</p> <p>Q 身の丈にあった予算にする気がないのか。 A 12 月議会でも中長期的財政見通しを出す。学識経験者からの答申もある。議会も調査し意見していく。</p> <p>Q 財政破たんはなぜ止められなかったのか。議会が第一責任者だ。議員ができれば専門家を呼ぶべきではないのか。 A 予算提案に責任を持って審査しているが、できれば外部監査も理解できる。</p> <p>※¹²平成 30 年度決算の中で慎重に各数値を検証した結果、財政再生基準値を超えたものはなく、財政破たんという状況にはない。外部監査導入については研究の必要はあると考える。</p> <p>Q 議会が機能していない。対策は。 A より丁寧に審査するとしか言いようがない。</p> <p>決算「小中一貫教育推進事業」</p> <p>Q 地域と学校を切り離すようだ。地域が声を上げたら取りやめになるのか。議会も応援してくれるのか。 A 基本は住民の声である。議員間で議論する。</p> <p>Q メリットはあるのか、通学負担はどうか。 A 人間関係が固定化することによるいじめの継続等の問題は避けやすい。その他教育成果を上げるための取り組みを研究中である。</p> <p>※¹³実践・研究の成果等は「小中一貫教育フォーラム」等で広報される予定である。通学については原則スクールバスによるが、個別の対応が必要なケースがあれば別途協議となる。</p> <p>補正「有害鳥獣対策事業」</p> <p>Q 2/7 の説明会では、設置前提で予算取りもあり、施設を使いたいとのことであった。建物は共有名義であり、内容の説明は全くなかった。 A 委員会で質疑があり、2/7 に了承いただいたと聞いた。</p>

	<p>Q 利便性だけで設置するのではなく、処理水やにおいの納得のいく説明をしてほしい。</p> <p>A 水は脱臭装置のフィルター洗浄で使う。雑菌や有害物質は隔離されている。地域住民に対する丁寧な説明が必要である。</p> <p>Q 自治連には 10/23 に説明あったが不十分だ。下世屋は民家に近い。南部のほうが捕獲数も多いのになぜ下世屋なのか。</p> <p>A 担当部署に事実確認し、できるだけ早く返す。</p> <p>Q 議員は下世屋に来て調査したのか。</p> <p>A 京丹後の事例もあり、今後は地域が声を出すことだ。</p> <p>Q 市は提案しただけだ。議会は責任を感じないのか。</p> <p>A 議決の責任はある。改善点が明確であり、意見を付すことや延期もありうる。</p> <p>※¹⁴ 議会の各議員は案件ごとに慎重審議して地域がよくなることを願って議決しているが、今後、議会として行政に対して、施設の具体的な状況について丁寧な説明を求める。</p> <p>補正「水道事業会計」</p> <p>Q なぜ住民説明がないのか。</p> <p>A 水質管理等クオリティー以外の窓口業務の民間委託と経費削減の議案であったから。</p> <p>Q 民間委託になることで周辺部を切り捨てることにつながるのか。</p> <p>A ならない。議会でも推移をみていく。</p> <p>Q 住民にとって水道料金が上がるならメリットはない。</p> <p>A 住民負担を低くしておいしい水を送るのであり、民間委託にするから料金値上げがされるのではない。料金については、水道料金等審議会で議論されている。</p> <p>Q 議会だよりは、市民が魅力を感じるものに、市民とのやり取りを掲載してほしいが、財政再建の中、経費はいくらか。</p> <p>A 年間約 80 万円ほどである。</p>
<p>懇談会のテーマ</p>	<p>宮津市への定住に関する取り組みについて</p>
<p>意見等集</p>	<p>総務文教委員会 調査・研究及び 参考事項</p> <p>Q 急傾斜地では家の改築もできない。規制緩和も含めた働きかけをしてほしい。</p> <p>A 建築基準法等で規制されている。</p>

約 結 果	産業福祉委員会 調査・研究及び 参考事項	
	その他事項	<ul style="list-style-type: none"> ・財政再建で、唯一の働く場であるしおぎり荘を閉鎖、高齢者のおむつのごみ袋等を削減した。住民の生活目線で議会として追及してほしい。
行政への要望等		<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣処理施設の名称に下世屋の地区名を入れないでほしい。 ・職員を削減せずに市バスや有害鳥獣処理施設などの部署を作ってほしい。 ・都市計画区域、用途地域の見直しをしてほしい。 ・働きながら介護できるように、市独自の提案をしてほしい。 ・身の丈に合った財政運営をしてほしい。

※各常任委員会は所管事務調査「政策提言など」の参考とする。

「市民と議会の懇談会」の概要を報告します。

令和元年 12 月 25 日 宮津市議会議長 北仲 篤 様

3 班 班長 長 林 三 代

市民と議会の懇談会での意見・要望に対する市の回答

(1) 日ヶ谷地区公民館

「高齢化等に伴う諸課題について」

中山間地等直接支払交付金事業が今年度で区切りとなり、「京力農場プラン」の作成が必須になるようだが、実態に見合った実現可能なものにできるよう指導願いたい。(実態は、現状維持するのがやっとである)

<回答>

加算措置を受けるにあたっては「集落戦略の作成」が必要となりますが、作成しない場合でも基礎単価（8割）の交付を受けることができます。

「京力農場プラン」の作成は必須ではありませんが、作成される場合は、基本となる地域の話し合いについて、サポートをさせていただきます。

(2) 城東会館

「災害に強いまちづくりについて」

①一時避難所として、地区自治会の公民館を活用することがあるが、最低限の備品や消耗品の配備をお願いしたい。

②舞鶴市の加佐地区では、ポンプ車、移動ポンプ車2台が配置されていると聞いている。宮津市でも検討してはどうか。

<回答>

①市が直接開設する指定避難所（市内12箇所）には、毛布のほか、非常用の食料・飲料水、防災ラジオ等を配置しています。

自治会等で自主的に開設される一時避難所には毛布を配置しています。

なお、食料や飲料水等については、防災に関する自助の取組として、各家庭で3日から1週間程度の備蓄を推奨しており、指定避難所等への避難の際も、備蓄の持参をお願いします。

②移動ポンプ車の常時配置は困難ではありますが、有事の際に、国等に臨時・緊急配備を要請することとしています。

(3) 養老地区公民館

「地域の活性化について」

「バス枝路線含む高齢化等による地域住民の移動手段確保等について」

- ①どのような状況になれば、再生・創生・活性化されたと言えるのか、2011 みやづビジョンの成果を数値化されたい。
- ②養老中学校跡地利用についての公募の結果並びに、公共マネジメントの中で、どのように整理されていくのか。現状を報告願いたい。
- ③「公共交通空白地有償運送」を持続可能なものとするための助成制度を確立されたい。

<回答>

- ①みやづビジョン 2011 を積極的に推進していくために「宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を掲げ、具体の目標数値を設定し取り組んでいます。その成果、進捗状況については、毎年度、進捗点検を行い公表しているところです。
- ②旧養老中学校につきましては、文部科学省の全国の廃校情報を集約した「～未来へつなごう～みんなの廃校プロジェクト」ホームページに一昨年からアップし、活用方法や利用者を募集するなどしており、これまで福祉系やアパレル系の事業所などから5件程度お問合せがあり、現地確認等もいただきました。
今後も、公共施設マネジメントの中で、引き続き同プロジェクトを活用し民間活用の提案を募集してまいりたいと考えています。
- ③持続可能な運営ができるよう、車両の無償貸与、運営費補助・立上げ支援交付金の制度を創設し、地域の取組を支援していきます。

(4) 栗田地区公民館

「生活環境(買い物、通院など)について」

- ①地元スーパーが撤退した。市内業者(宅配サービスなど)と交渉し「代替え案」を提案して欲しい。
- ②バスの有償運送は自治会では結論が出ていないが、行政から代替案を提示して欲しい。

<回答>

- ①スーパーの撤退後、数事業者への聞き取りを行い、移動販売や宅配サービスについては、需要があれば、ルート拡大や増便も検討できる旨、伺っております。こうした中で、地域として、需要確保に向けて何が出来るのかなど、地域課題を主体的に考えて、行動していただくことが肝要と考えております。その上で、市としましても、地域の対応や取組をサポートしてまいりたいと考えております。
- ②代替案候補について、11月末には自治会へ相談させていただきました。その後、代替案の具体化に向けて関係機関と協議を進めていますので、今しばらくお待ちください。

(5) 由良地区公民館

「高齢化する農業について」

- ①農地に行けない場所があり農道整備と現地調査をして欲しい。
- ②市役所に半農半業就労の相談窓口を開設して欲しい。
- ③後継者不足解消のため、第三者に農地を任せる補助制度を検討して欲しい。

<回答>

関係農家組合等と日程調整し、現地調査を行います。

(6) 浪花会館

「如願寺川の溢水対策」

- ①如願寺川の溢水は、滝上公園の上側の京都府砂防工事の影響がないか調べてほしい。
- ②砂防工事は如願寺川沿いの狭い道路で出来るのか。
- ③如願寺川側溝の修繕・補修をして欲しい。
- ④河口(港湾)の浚渫工事をして欲しい。
- ⑤山の整備(倒木)を優先でして欲しい。
- ⑥海岸付近での排水ポンプの強化をして欲しい。
- ⑦高齢化と人出不足もあり日頃から自治会倉庫に土嚢のストックを設置して欲しい。
- ⑧「水道事業会計」窓口業務の民間委託、火葬場検討会発足(西部地区委員2名選出)など住民への説明を積極的にして欲しい。

<回答>

- ①～④如願寺川の溢水については、流木による断面阻害も大きな要因と考えられ、その対策は急務と考えており、京都府へ対策要望を行って参りましたところ、簡易流木留めの設置をする方向で予算要求をしていると伺っております。
また、河口の浚渫については、現状を注視しながら必要に応じて浚渫等の維持管理に努めます。
- ⑤具体の箇所が不明ではありますが、如願寺川の流域には、宮津市有林と個人所有の私有林があります。宮津市有林につきましては、適切な森林管理に努めます。
私有林につきましては、府補助制度を活用した森林所有者による森林整備(倒木等の伐採・処理)が行われるよう、啓発してまいります。
- ⑥浜町排水機場の維持管理に努めます。
- ⑦毎年各自治会に対して、土のう作成用土砂と土のう袋の必要数を確認し、要望に応じて必要資材を提供しています。
- ⑧事業を進めるに当たっては、引き続き市民の皆様のお声を大切にしております。広報誌等を活用し市民の皆さんへの情報提供を行うこととしています。

(7) 日置地区公民館

「高齢者福祉と地域医療、地域振興策(農産物販売所等)」

- ①交通手段(バス)が不便で買い物先がないことを認識して欲しい。
- ②ゴミの搬出が大変。ゴミ集約所の増設をして欲しい。
- ③下水道は府中の北エリアから北が整備されなくなった経緯(財政・ポンプ設置など)が不明確と感じる。(※懇談会后、建設部に確認。平成20年10月に自治会要望があり説明会を開いたとの回答を受けた)
- ④農村集落型排水施設(ミニ集落型排水施設)を検討して欲しい。

<回答>

- ①日置地区につきましては、引き続き、国道178号線を運行する幹線バスを維持し、地域生活を支える移動手段を確保するとともに、利便性の向上のためのダイヤ設定が行われているところです。
また、令和元年8月に日置自治連合会から要望のありました、畑川橋近辺へのバス停留所の増設については、令和2年2月の宮津市地域公共交通会議において設置が認められましたので、令和2年4月から、新たに「畑川橋」バス停が新設されます。
なお、運転手不足により維持ができなくなった枝線の運行地域につきましては、地域の移動手段が無くならないよう、地域とともに移動手段確保策を検討し、一部の地域で、令和2年4月から新たな移動手段の確保策として、公共交通空白地有償運送が開始されます。
- ②本市のごみ収集におけるステーションは、約1200箇所、市民千人あたり66箇所となっております。近隣市町平均が千人当たり38箇所であることに比較して、現在でも多く設置しているところであり、収集経費が増大することを鑑みますと、ステーション増設は慎重でなければならぬと考えております。
- ③丁寧にご説明申し上げてまいりました。
- ④農村集落型排水施設の計画・整備は困難です。

(8) 上宮津地区公民館

「山林の維持管理と下流域の防災対策」

- ①天神団地や鳥が尾団地等、安全性の高い場所を最終避難所に利用してはどうか。
- ②災害復旧の補助金が出ても受益者負担金が多い。受益者負担金の見直しを求める。
- ③高齢化で紙おむつなどのゴミが重くて大変である。ごみ集積場の増設を。
- ④有害鳥獣をジビエに利用してほしい。
- ⑤人事異動で職員がよく替わる。森林整備は一定期間専任できる職員を置いてほしい。
- ⑥災害時、松縄手の住民は高速道路料金所に避難した。避難所対策等に利用させてもらえるよう働きかけてほしい。
- ⑦バスケットやスケートボードができる、子どもの遊び場がほしい。

<回答>

- ①指定避難所は、現有施設の活用及び耐震機能を有する等の条件を勘案して、上宮津地区は、旧上宮津小学校としています。
- ②農業関係の災害復旧事業は、個人所有の農地、あるいは地域で使用されている農道や農業用水路等が災害にあった場合に、個人の財産や地域の共有財産について復旧するもので、受益者が特定されることから、条例に基づき受益者負担を求めているものがあります。
こうした中で、災害復旧事業については、分担金率を通常の整備事業より軽減し、受益者の負担について配慮しているところであります。
- ③本市のごみ収集におけるステーションは、約 1200 箇所、市民千人あたり 66 箇所となっております。近隣市町平均が千人当たり 38 箇所であることに比較して、現在でも多く設置しているところであり、収集経費が増大することを鑑みますと、ステーション増設は慎重でなければならないと考えております。
- ④ジビエ活用は、市内では世屋地区に民間の加工施設が 1 ヶ所ありますが、この施設で利用促進されるようサポートしていくとともに、同様の取組が広がるよう普及啓発してまいります。
- ⑤職員については適材適所と人材育成の観点から人員配置してまいります。
- ⑥避難所のあり方は、市が直接開設する指定避難所のほか、地区防災の観点から自治会が地区公民館を一時避難所として開設されているケースもあります。また、自治会と福祉施設との間で、避難所の協定締結をされたケースもありますので、地域での防災対策のあり方を話し合ってください、自治会などの取組みとして働きかけをお願いいたします。
- ⑦子育て環境の充実に係るご要望の一つとして、お聞きしました。

(9)府中地区公民館

「空き家対策について」

- ①綾部市や北海道東川町は移住が多い。移住しやすいよう行政がリーダーシップをとってほしい。
- ②宮津の魅力を発信しているが、発信元を明確にしてほしい。

<回答>

- ①府中地区においては、令和元年 9 月に移住促進特別区域に指定されました。今後、地域コミュニティの活性化に向けた移住者のための空家の掘起こしなどを積極的に支援していきます。
- ②本市からの情報発信は、広報誌をはじめとして、ホームページやフェイスブック、インスタグラムの SNS など、様々な広報媒体を活用しています。今後とも、多世代に各種のタイムリーな情報を、分かりやすくお伝えできるよう努めます。

(10) 魚屋会館

「まちづくりについて」

- ①観光客の多い文珠で、宮津の物産を広報し販売額を増やす目的でセレクトショップを開設してほしい。
- ②第1次産業部門を豊かにしてほしい。
- ③海岸にゴミ箱を設置し、美化清掃の協力金を徴収してはどうか。
- ④観光客が府中運動公園の周囲に駐車しており、公園利用者が駐車場を利用できないときがある。臨時駐車場についての工夫をしてほしい。
- ⑤クルーズ観光できるよう、伊根行きを夏季だけでなく増便してほしい。

<回答>

- ①文珠のセレクトショップの開設については、既に販売されている店舗との競合にも関わることであり、民間事業者で検討いただく事項と考えております。なお、ご意見は、地元観光関連団体に伝えさせていただきます。
- ②ご意見いただいた考え方で取り組んでいます。
- ③今後の参考とさせていただきます。
- ④地元観光団体等と研究してまいります。
- ⑤ご意見は、観光船の運航会社に伝えさせていただきます。

(11) 世屋地区公民館

「宮津市への定住に関する取り組みについて」

- ①有害鳥獣処理施設の名称に下世屋の地区名を入れないでほしい。
- ②職員を削減せずに市バスや有害鳥獣処理施設などの部署を作してほしい。
- ③都市計画区域、用途地域の見直しをしてほしい。
- ④働きながら介護できるように、市独自の提案をしてほしい。
- ⑤身の丈に合った財政運営をしてほしい。

<回答>

- ①当該施設の名称は「宮津市有害鳥獣処理施設」とし、地区の名称は入れません。
- ②③④今後の参考とさせていただきます。
- ⑤同じ思いで財政運営に取り組んでおり、まずは、財政健全化に向けた取組を最優先で取り組んでいきます。施策の優先順位を決め、選択と集中により、計画的に投資し、「明るく豊かな宮津」の実現に向けて取り組んでいきます。